

「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」への寄付金を活用した事業について（平成22年度）

◆ 市立小樽文学館および市立小樽美術館の整備事業並びにその周辺の整備事業 ◆

事業名（金額）	内容
市立小樽文学館・美術館整備事業 （10,613,000円）	皆さまからお寄せいただいた「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」への寄付金により、市立小樽文学館・美術館を下記のとおり再整備させていただきました。心から御礼申し上げます。 この整備事業におきましては、寄付金の一部を活用しました。

■ 整備後の状況 ① ■

<一原有徳記念ホール>



日本を代表する版画家一原有徳の常設展示室を3階に開設しました。版画などの作品展示はもちろん、作家・作品への理解を深めていただくため、作品制作過程を動画で紹介するコーナーや、自宅のアトリエを再現したコーナーを設けています。

「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」への寄付金を活用した事業について（平成22年度）

■ 整備後の状況 ② ■

<手宮線側入口・事務管理室>



壁の館名サインをバックに、来館記念の記念撮影をされるお客さまもいらっしゃいます。

<ミーティングルーム>



小規模な会議などに使用しております。会議が入っていないときはお客様の休憩コーナーとしても使用しています。

<研修室>



40人程度の会議・研修会のほか、「おたる雪あかりの路」のボランティア控室としても利用させていただきました。

<収蔵庫>



地階には収蔵庫を整備させて、移設いただきました。庫内には作品のコンディションを保つため、除湿機を設置しました。

<市民・多目的ギャラリー>



従来3階にあった市民ギャラリーを1階に移設しました。利用者の方からは「明るくきれいになった」と好評です。

<文学館（古本コーナー）>



従来あった事務室を1階にし、文学館の古本コーナーを明るく開放的な空間にしました。